



臨時レポート

2020年3月9日

ご投資家の皆様へ

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

弊社公募投資信託の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社の公募投資信託の基準価額が本日大きく下落しましたので、その要因等について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基準価額および下落率（前日比で5%以上下落したファンド）

（2020年3月9日現在）

ファンド名	基準価額（円）	前日比（円）	下落率
しんきんインデックスファンド225	13,938	-744	-5.07%
しんきんノーロード日経225	9,226	-508	-5.22%
しんきん日経平均オープン	11,300	-622	-5.22%
しんきんDC日経225株式ファンド	9,212	-503	-5.18%
しんきんJPX日経400オープン	11,422	-670	-5.54%
しんきんトピックスオープン	9,725	-577	-5.60%
しんきん好配当利回り株ファンド	15,151	-949	-5.89%
しんきん好配当利回り株ファンド （3ヵ月決算型）	7,250	-458	-5.94%
しんきんSRIファンド	8,636	-505	-5.52%
フコクSRI（社会的責任投資）ファンド	13,745	-805	-5.53%
しんきんフコクESG日本株式ファンド	8,658	-506	-5.52%
しんきんリートオープン（毎月決算型）	4,611	-312	-6.34%
しんきんリートオープン（1年決算型）	15,000	-1,015	-6.34%
しんきんアジアETF株式ファンド	8,246	-484	-5.54%
しんきん世界好配当利回り株ファンド （毎月決算型）	4,362	-285	-6.13%
しんきん世界好配当利回り株ファンド （1年決算型）	8,180	-541	-6.20%



2. 主要指数

(2020年3月9日終値)

主要指数(国内)	終値	前日比	騰落率
日経平均株価(円)	19,698.76	-1,050.99	-5.07%
TOPIX(東証株価指数)	1,388.97	-82.49	-5.61%
JPX日経400	12,524.35	-731.81	-5.52%
東証REIT指数	1,912.30	-130.74	-6.40%

主要指数(海外)	終値	前日比	騰落率
上海総合指数(中国)	2,943.29	-91.22	-3.01%
香港ハンセン指数	25,040.46	-1,106.21	-4.23%
韓国総合株価指数(KOSPI)	1,954.77	-85.45	-4.19%

(2020年3月6日終値)

主要指数(海外)	終値	前日比	騰落率
NYダウ(ドル)(米国)	25,864.78	-256.50	-0.98%
S&P500種指数(米国)	2,972.37	-51.57	-1.71%
FTSE100指数(英国)	6,462.55	-242.88	-3.62%
ドイツDAX指数	11,541.87	-402.85	-3.37%

(参考)

対顧客電信相場	3月9日	前営業日比	騰落率
米ドル(円)TTM	102.01円	-4.24円(円高)	-3.99%
ユーロ(円)TTM	115.85円	-3.22円(円高)	-2.70%

(出所) Bloomberg よりデータ取得し、しんきん投信作成

3. 下落の要因

新型コロナウイルスの感染が中国以外で拡大し、世界の感染者が10万人を突破するなど、感染拡大に収束の兆しがない中、景気や企業業績の不透明感の高まりから投資家心理が一段と悪化しています。3月6日に発表された2月の米雇用統計は非農業部門の雇用者数が前月比27万3,000人増と、市場予想(約17万人増)を大幅に上回り、失業率も3.5%に低下するなど、良好な内容でしたが、新型ウイルスへの警戒に加え、石油輸出国機構(OPEC)とロシアなどの非加盟国が減産拡大や延長で合意できず、原油価格が急落したことも重しとなり、NYダウは一時約900ドル安、米長期金利は一時0.66%と過去最低を更新しました。ドル円は、米国経済の下振れリスクを意識したドル売りに加え、日米金利差の縮小を見込んだドル売り・円買いや、逃避需要からの円買いが広がったことを背景にドル安・円高が進行し、9日の東京市場では一時101円台まで急落しました。国内の株式市場でも売りが加速し、日経平均株価は2019年1月以来1年2か月ぶりに、2万円を割り込みました。



4. 今後の展開

米連邦準備制度理事会(FRB)は3月3日に、「経済を支えるために適切に行動する」とし、0.5%幅の緊急利下げを決めましたが、金融市場を落ち着かせることはできませんでした。米短期金融市場ではさらに、17、18日に予定されている定例の米連邦公開市場委員会(FOMC)で、通常の3回分の利下げ幅に相当する0.75%もの利下げを織り込む動きになっています。米金融市場は財政出動とともに大幅な利下げを催促している格好です。

6日の米株式市場では、クドロー国家経済会議(NEC)委員長が、新型コロナウイルス感染拡大により大きな被害を受ける企業などを対象とした支援を、政府が検討する可能性を示唆したことを受け、下げ幅を縮小する動きもみられました。米国でFRBが利下げや資産買入れなどの一段の金融緩和に動き、また米政府が景気刺激策を打ち出すと、安心感が広がる可能性があります。

他方、東証REIT指数は5日には2,100ポイントを回復しましたが、再び投資家のリスク回避姿勢が一段と強まる中、利益確定売りなどから、9日には1,912ポイントまで急落しました。Jリークの市場規模が小さいため、売りを吸収しきれなかったことも下押し材料になった模様です。もっとも、Jリークの予想分配金利回りは4.0%台に乗せてきており、割安感も強まっています。内外の金融市場が落ち着いてくれば、見直し買いも期待できます。

新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが出てくると、リバウンドも期待できますが、それまでは不安定な展開が続く可能性があり注意が必要です。

以上



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。